

## 産業建設委員会

**質** 北秋田市周辺衛生施設組合解散で発生する施設解体の経費等は。  
**答** 解体撤去費等経費は約5億2000万円、この経費から基金残を除いた額を、構成市町村の負担割合で案分することとなる。能代市の負担額は1億2000万円くらいと推定している。

**質** 能代都市計画事業下水道受益者負担に関する条例の一部改正での負担額算出根拠は。  
**答** 末端管渠事業費の5分の1以上かつ3分の1以下が望ましいとの国からの通達をもとに計算し、これまでの負担額や県内他市の動向を踏まえ、1平米当たり480円に据え置いた。

**質** 一括で支払いが困難な方への対応は。  
**答** 所有している土地の面積に応じた負担を賦課しているが、畑等については、宅地として活用されるまで猶予するなど、個別に状況を確認した上で、柔軟に対応している。また、5年間、年4期に分割することを原則とし、一度に負担がかからないように配慮している。



産業建設委員会の様子

**質** 能代市水道事業会計決算の認定で、純利益が前年度と比較し減している理由は。  
**答** 平成30年度は、検定満期のメーター取りかえが多い年に当たっていたことにより、作業委託料や修繕料がふえたことが要因である。

**質** 今後の水道事業の経営見通しは。  
**答** 令和8年までの経営戦略内の財政推計等は、おおむね良好に推移すると考えているが、令和3年度決算時点での経営戦略の中間見直しを行うことしており、精査していきたい。

**質** 有収率向上に対する取り組みは。  
**答** 水はけのよい砂地等に埋設されている老朽管において、地上に出ないで浸透する漏水量の増加が、有収率低下の要因と考えている。令和2年度から専門業者による地下漏水調査を予定している。老朽管の更新は、古いものから計画的に行っているが、調査結果を踏まえ、漏水の多い箇所の前倒しも考えている。

**質** 空き店舗流動化支援事業費補助金の実績と事業継続予定は。  
**答** 平成26年度から30年度まで、補助金を利用して開業した店舗が20件、うち現在も営業しているものが16件である。市内の空き店舗が目立つ中、空き店舗の流動化に一定の効果を得ていると考えており、今後も継続していきたい。

(落合範良)

## 議会基本条例策定 特別委員会

9月18日に開催された委員会では、各条文についての6回目の検討を行った。

「目的」について

**意見** 「議会及び議員の役割や責任」の文言について、前文に文言を記載することにより、条文に明記しなくてもいいと考える。

「会派」について

**意見** 同一理念及び政策を共有する3人以上の議員で構成するという文言のうち、3人以上を削除する。

「議員の報酬」について

**意見** どうあるべきかを規定するものであって、改正案を提出する際のものだけを規定すべきではない。

**意見** 現状は報酬審議会の意見を踏まえた市長の提案を議会が判断しているが、そのかたちと違う場合の対応、判断基準について規定した。

「政治倫理」について

**協議結果** 全会一致で内容を確認した。

なお、全会一致に至っていない条文については引き続き検討を要するところとした。

前文について

会派「改革ネットワーク」及び会派「平政・公明党」から文案が提出され、次回までに各会派の意見を取りまとめ協議することとした。  
 (佐藤智一)

## 議会の主な動き

- 7月8日 産業建設委員会行政視察 (10日まち)
- 7月10日 総務企画委員会行政視察 (12日まち)
- 22日 総務企画委員会協議会
- 29日 産業建設委員会協議会
- 8月27日 会派代表者会議
- 9月3日 議会運営委員会
- 10日 議会運営委員会
- 11日 議会運営委員会
- 12日 決算特別委員会(全体会)
- 13日 各常任委員会
- 18日 決算特別委員会(各分科会)
- 27日 決算特別委員会(全体会)
- 10月2日 議会運営委員会
- 9月定例会閉会